

UKC SDGs特別講演会

日時：令和5年11月1日 18:00~20:00

『私たちはSDGsの推進について、
何をなすべきでしょう』

薄井 洋基

神戸大学名誉教授

うべ環境コミュニティー理事

人として最も大切なこと

- 自由で、束縛されないこと
- 人に良くしてあげようと言うことをモットーにして生きること
- 権力にしがみつくな : 金持ちになろうと思うな
: 欲望に捉われるな : 他人の考え方に寛容であれ
- このような生き方をすれば、私たちの活動はSDG s に繋がり、世界の争い事もなくなる

SDGs(持続可能な17の開発目標)の理念 私たちはSDGs推進において何をなすべきか？

SDGs を実行中

SDGs に関心あり
ただし実行して
いない

SDGs に無関心

- **理念**：すべての人々にとってよりよい、持続可能な未来を築くための青写真
- 貧困や不平等、気候変動、環境劣化、繁栄、平和と公正など、私たちが直面するグローバルな諸課題の解決を目指す
- 誰一人置き去りにしないために、2030年までに各目標・ターゲットを達成しようとしている
- 私たちそれぞれの立場でSDGsに取り組んでいくことが大事です
- 本日の参加者は、既にSDGsに強い関心を持ち、SDGsの取り組みを実行中の方々であると考えます。

私たちはSDGs推進において何をなすべきか？



- SDGs マインドを持って活動すれば、すべてはSDGsに繋がる
- 個々の人の関心と取り組みはひとまず置いておいて、以下においては日本社会の問題点からSDGsを考えてみよう

SDGsの推進

まずは日本の屋台骨が揺らがないことが大事

- **日本の置かれた状況** ⇒ 技術立国を目指すも、貧富の差が大きくなり、社会の沈滞傾向がだんだん酷くなってきている
- 少子高齢化・結婚しない若者の増加・不登校や引きこもりの増加・研究機関や企業の研究力の低下など ⇒ **国力の低下**
- 加えて気候変動による温暖化・激甚災害の増加
- Covid-19パンデミックなどの保健衛生環境の維持に対するコスト増・経済の停滞
- 私たちはどう対応してゆけば良いのか？
- 先に述べたように、私たちそれぞれの立場でSDGsに取り組んでいくことが大事であるが、それに加えて、**ここでは日本全体で何を解決すべきかを考えよう**

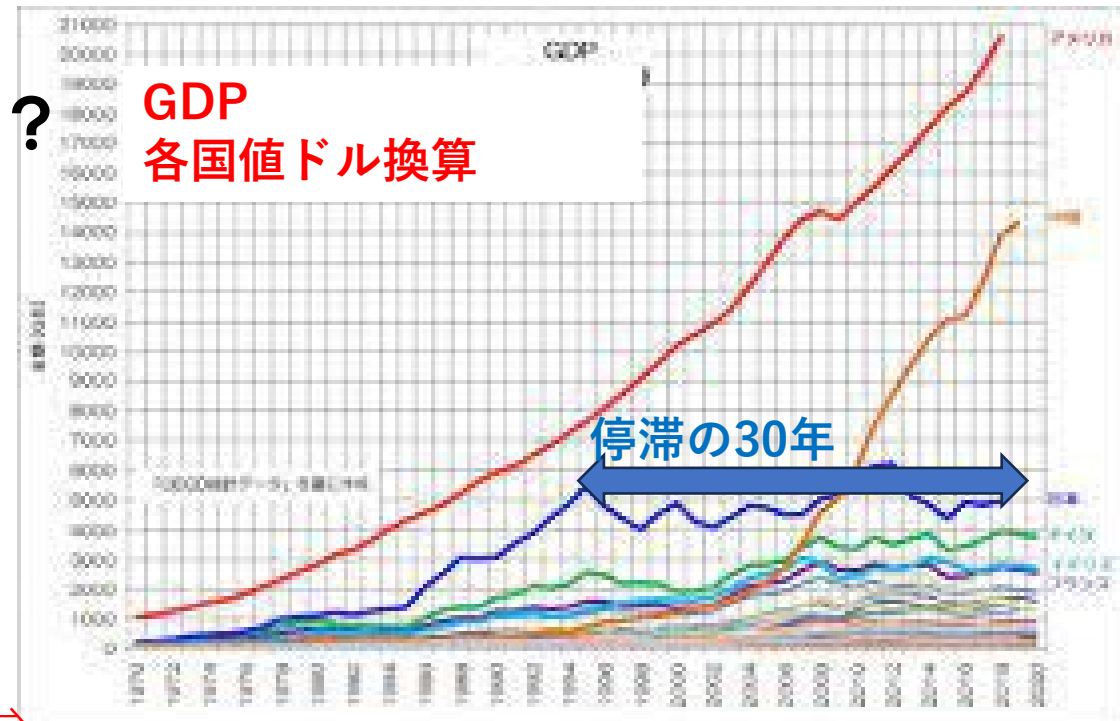
資源の無い日本は技術立国を目指すも、 沈滞傾向がだんだん酷くなってきている 検討すべき課題

- 人口減少、特に少子化・大学進学年齢層の減少の実態
- 日本の研究力の衰退
- 研究者を目指す若者の減少(社会はスポーツ選手の活躍には喝采を送るが、研究者の育成と活躍にはあまり関心を持たない)
- グローバル人材は本当に育っているのか？
- DX人材はどのレベルの能力が必要とされるのか？



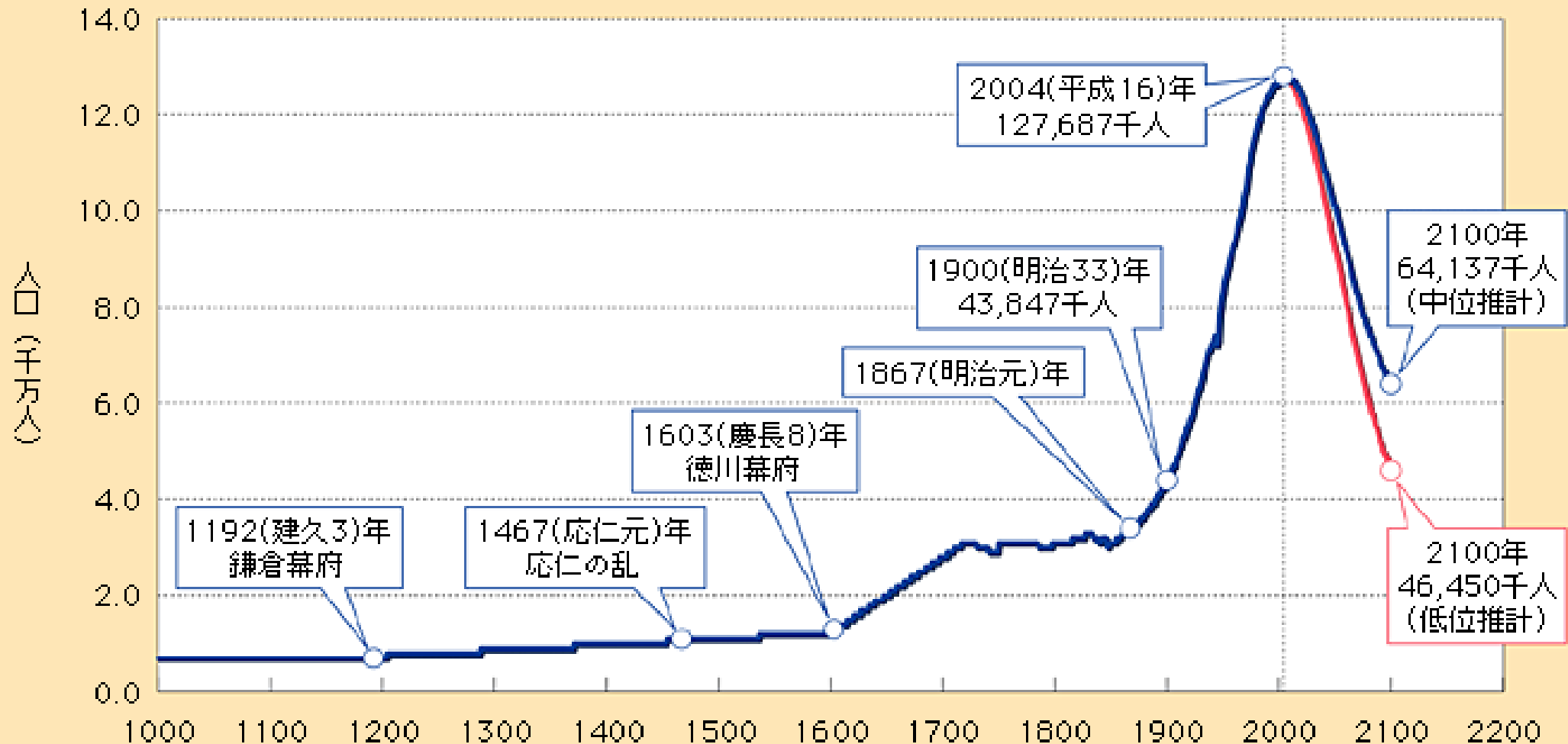
- 大学教育はどうあるべきか
- 企業におけるSDGs活動の在り方

DX デジタルトランスフォーメーション
(Digital Transformation) の略です。



GDPの国別推移 名目値 ドル換算 出典：OECD資料より⇒

・人口減少の実態



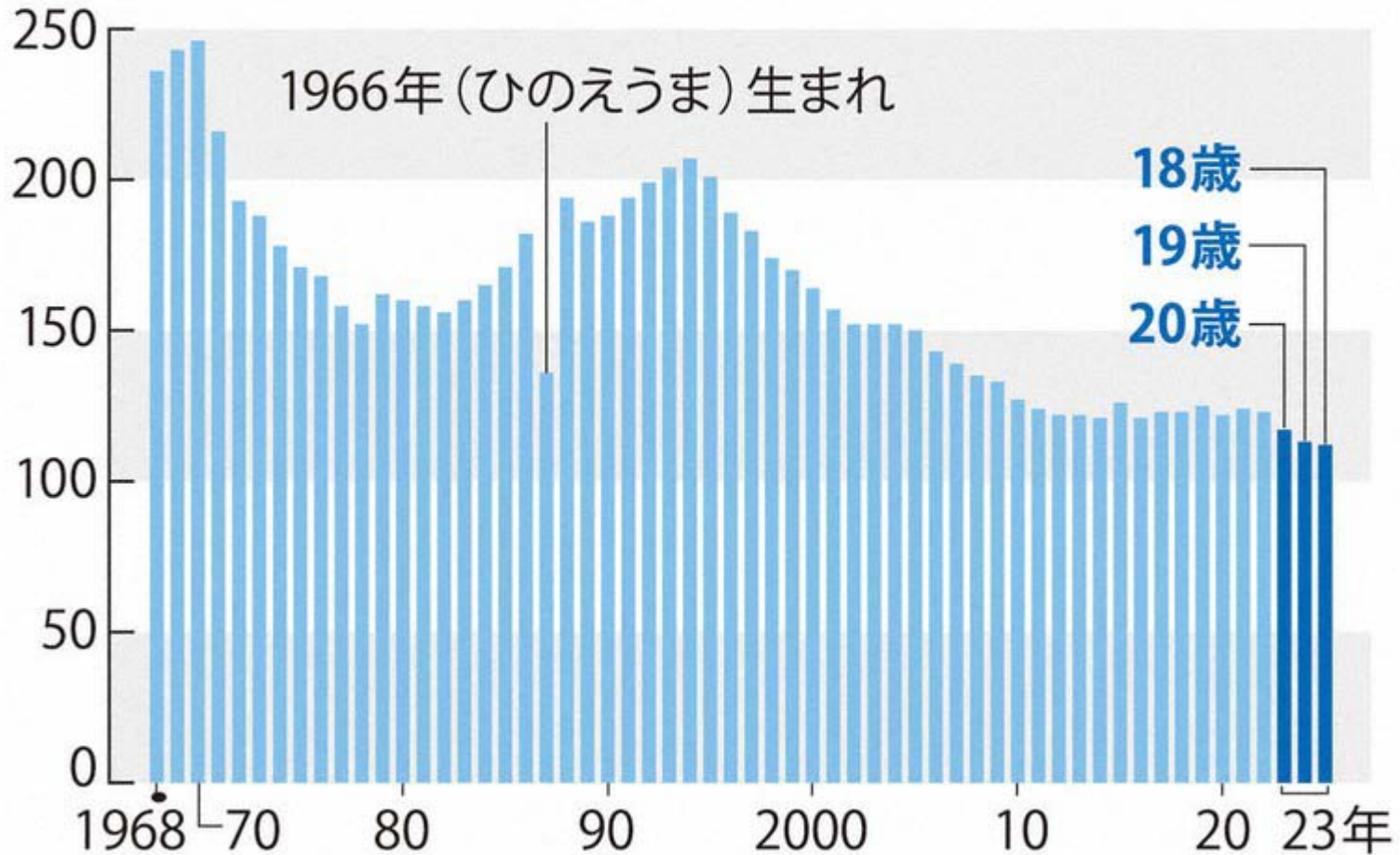
資料：1872年以前は、鬼頭宏「人口から読む日本の歴史」講談社（2000年）、森田優三「人口増加の分析」日本評論社（1944年）による。1872年から2004年までは総務省統計局「国勢調査」、「10月1日現在推計人口」による。2005年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成14年1月推計）」。

注：推計値のうち、2051年から2100年までは参考推計。

・ 少子化・大学進学年齢層の減少の実態

新成人の人口

(万人)

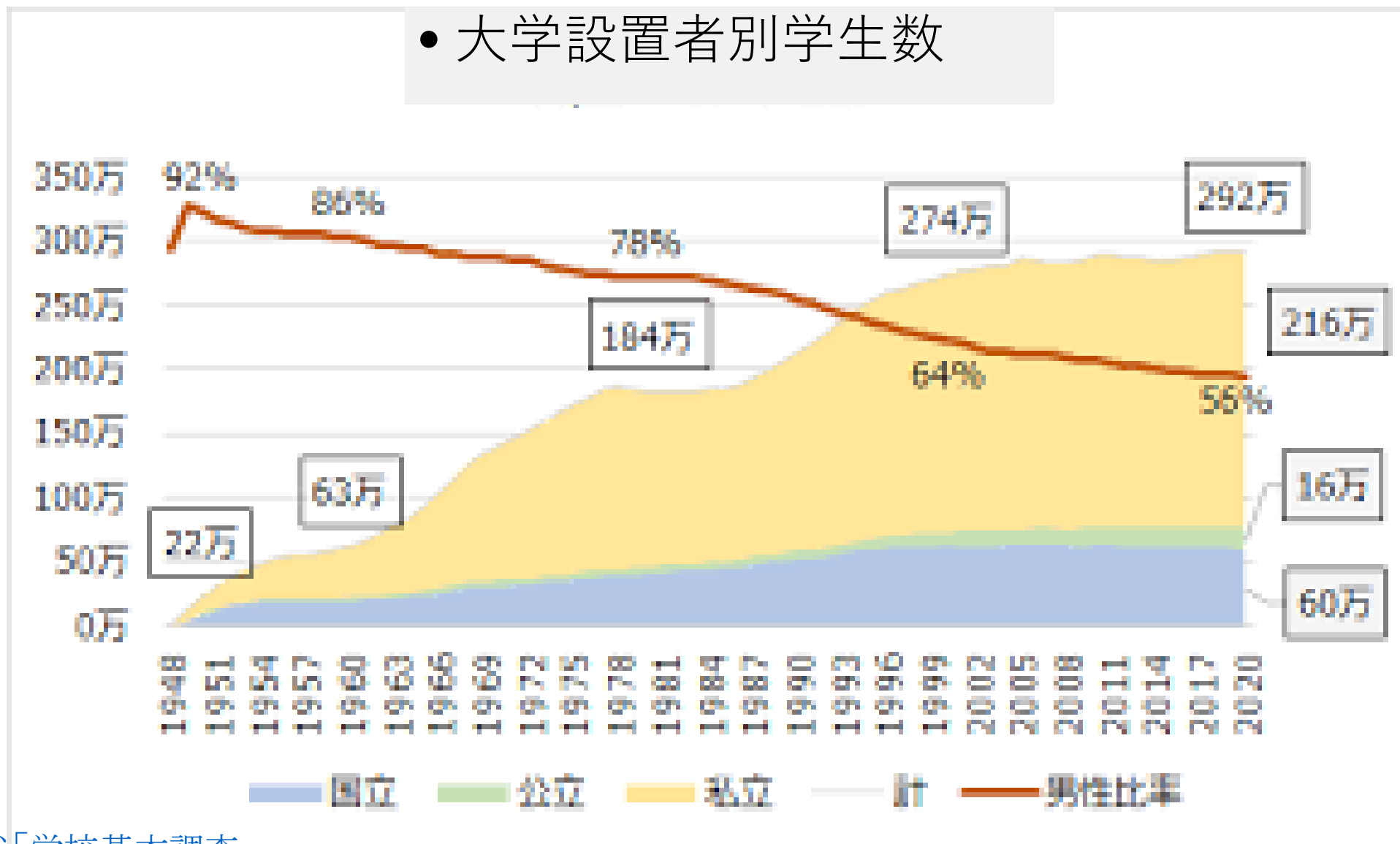


※各年1月1日時点、総務省の人口推計による

日本の研究力の衰退

1学年の入学定員は
下図の学生数の約1/4

- 大学設置者別学生数



・日本の研究力の衰退

タイムス大学ランキング (2023年)

順位	大学名	全体順位
1	東京大学	39
2	京都大学	68
3	東北大学	201~250
4	大阪大学	251~300
5	名古屋大学	301~350
6	東京工業大学	301~350
7	北海道大学	501~600
8	九州大学	501~600
9	東京医科歯科大学	501~600
10	筑波大学	501~600

THE 世界大学ランキング 2021

世界のベスト15		日本の上位大学	
順位	大学名(国)	順位	大学名
1	オックスフォード大学(英国)	36	東京大学
2	スタンフォード大学(米国)	54	京都大学
3	ハーバード大学(米国)	201-250	東北大学
4	カリフォルニア工科大学(米国)	301-350	東京工業大学
5	マサチューセッツ工科大学(米国)	351-400	名古屋大学、★産業医科大学、大阪大学
6	ケンブリッジ大学(英国)	401-500	九州大学、東京医科歯科大学、筑波大学
7	カリフォルニア大学バークレー校(米国)	501-600	★藤田医科大学、北海道大学、★帝京大学
8	エール大学(米国)	601-800	◎会津大学、★東京慈恵会医科大学、★関西医科大学、★慶應義塾大学、神戸大学、★日本医科大学、◎横浜市立大学
9	プリンストン大学(米国)		
10	シカゴ大学(米国)		
11	インペリアル・カレッジ・ロンドン(英国)		
12	ジョンズ・ホプキンス大学(米国)		
13	ペンシルバニア大学(米国)		
14	スイス連邦工科大学チューリッヒ校(スイス)		
15	カリフォルニア大学ロサンゼルス校(米国)		

※大学名の前に★があるのが私立大、○があるのが公立大、無印が国立大

「[Times Higher Education \(THE\) 2023](https://www.timeshighereducation.com/)」

育校生新聞社(禁転載)

日本の研究力の衰退

- 大学進学年齢層の減少 一方では 大学定員が増加の方向
- 国立大学でも学生の学力レベルの低下
- 団塊世代⇒優秀な学生が理工農学部に集まって、その人たちが企業の研究力を引っ張って行った。⇒ ジャパン・アズ・ナンバーワンの時代へ

その後の、バブル崩壊と長期停滞

- 大学の研究者の世界に対する競争力の低下
- 研究者が自由に動きづらい日本の環境におけるアメリカ流の任期制の導入
- 世界に飛びだす研究者の気概が日本人は少ない

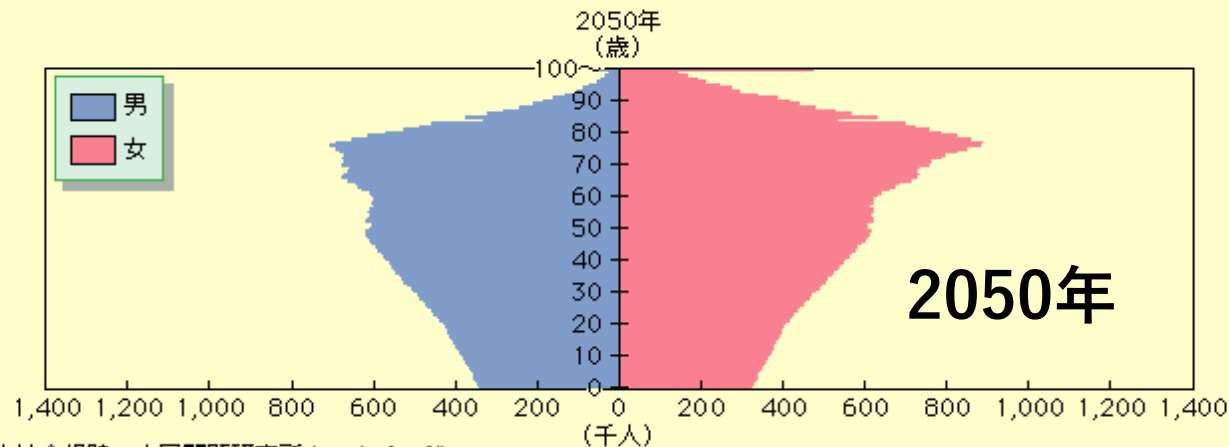
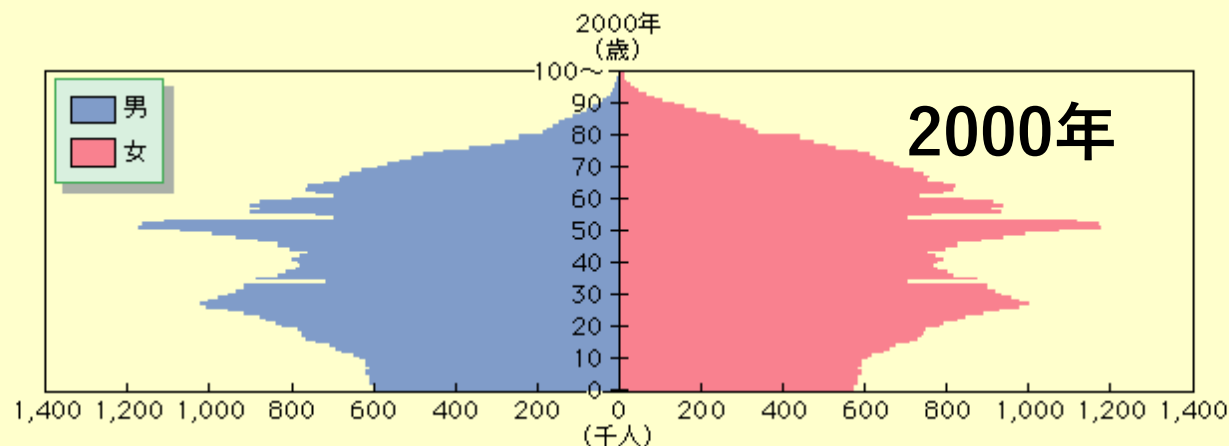
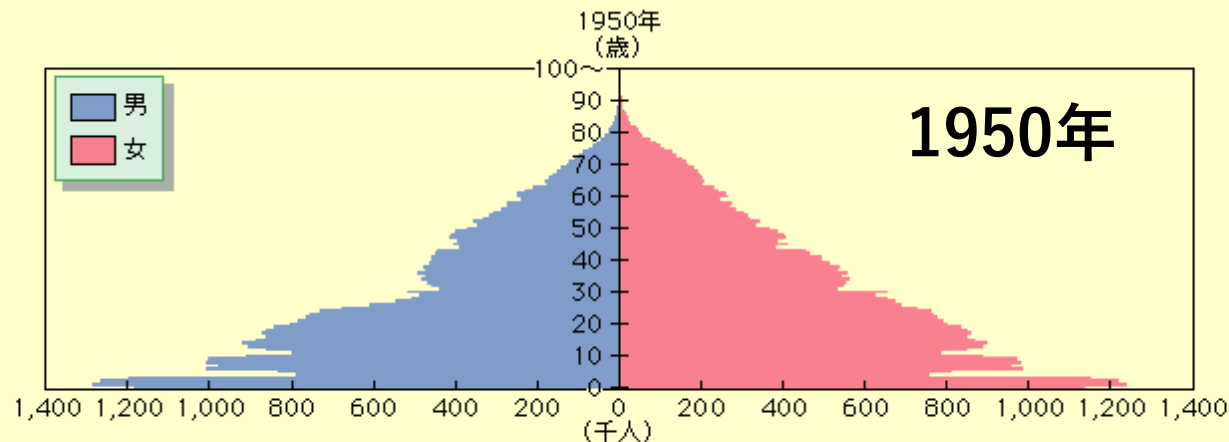
日本の大学が国際競争力をつけるためには、何をなすべきか

- 18歳人口の減少を食い止める
- 義務教育課程における教育レベルを向上させる
- 大学入学後の勉学意欲を失わないように、必死で努力させる
- 大学のカリキュラムを見直し、易きに流れる選択科目の風潮を改める。大学卒業生のレベルを向上させる。
- 私立大学の論理には相反するかもしれないが、私立大学の定員を見直し、人口減少に見合った大学の淘汰を実現する。≡ 私見です。
- 海外からの優秀な留学生を大量に受け入れると共に、日本人の海外留学を大幅に奨励

SDGsも結局は人の力 人がいなくなれば 国家存亡の危機

少子化対策を どうするのか

日本の人口ピラミッド



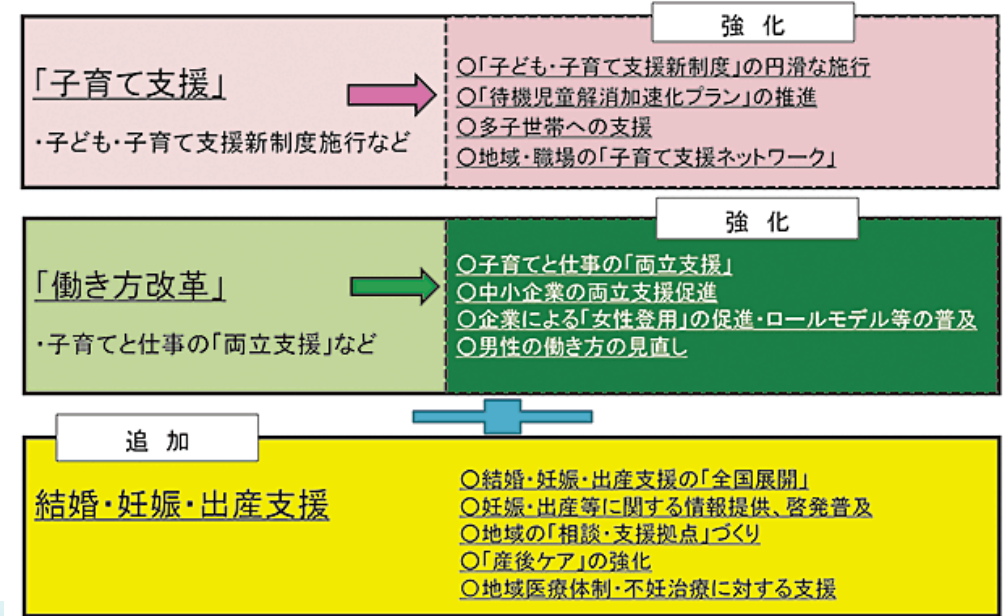
日本政府の少子化対策

「次元の異なる少子化対策」の主な内容

- ① 児童手当の拡充(所得制限を撤廃し、支給期間を高校生年代まで延長。第3子以降は月3万円)
- ② 育児休業給付の拡充(実質手取り10割に)
- ③ 出産費用の保険適用
- ④ 保育士の処遇改善、親の就労を問わず利用できる「こども誰でも通園制度」(仮称)の創設
- ⑤ 高等教育費の授業料減免、給付型奨学金などの支援拡充
- ⑥ 子育て世帯が優先的に入居できる公営住宅などを10年間で20万戸確保

<https://www.chunichi.co.jp/article/713477>

「少子化危機突破のための緊急対策」の柱—「3本の矢」で推進



※ 平成25年6月7日 少子化社会対策会議決定

出典 内閣府資料

結婚しない若者の増加

結婚しない・できない若者が増えている

2015年 1990年

「未婚者」の増加
※ 単独調査による

25歳未満	男 73%	女 64%
25～29歳	男 61%	女 40%
30～34歳	男 47%	女 33%
35歳以上	男 35%	女 14%



二つの壁。



※ 国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」(2015年)から、25～34歳未婚者の「独身である理由」(3つまでの複数回答)

<https://www.yomiuri.co.jp/life/20220610-OYT1T50245/>

<https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20171127-OYTET50005/>

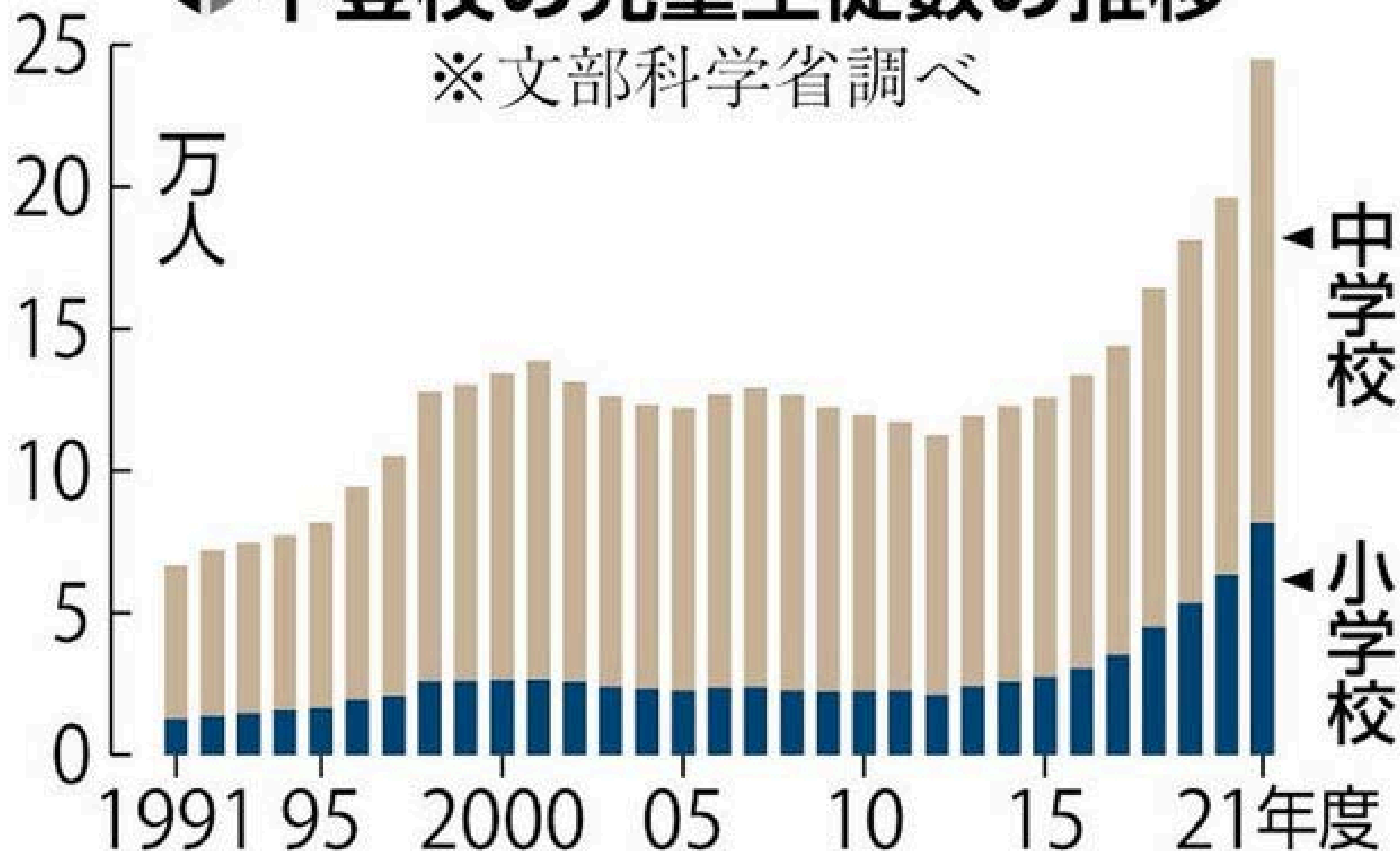


政府の少子化対策で問題は解決するのか？

- 政府の少子化対策で、結婚後の夫婦の出産意欲は、一定程度の効果は期待されるものの、補助金を出せば、それで全ての問題が解決するとは思われない。
- 結婚しない若者を結婚しようと思わせるためにはどうすべきか？
- 親の責任 ⇒ 自分たちが幸せな結婚生活を送っていることを子どもが小さい時から良く分からせる ⇒ 親は**そこそこの生活を送っていれば、それで良しと考える風潮を子供に伝染させるな** ⇒ 結婚生活で何が大切なのかを親が子供に教える
- 貧乏生活を厭わなければ、夫婦で協力することによって、生活は成り立つ。 ⇒ **現在の生活環境に拘らずに**、二人で切り開く道を考えよう。即ち、二人で協力して世界の何処にでも移り住んで生活していく
- **親は今一度、真剣に子供と向き合って結婚することの大切さを議論しなさい**

不登校の児童生徒数の推移

※文部科学省調べ



不登校： 問題解決への道

- **家族**： **子どもに対する親の毅然とした姿勢が大切**
- **学校教育関係機関**
- **医療・福祉関係機関**
- **スクールカウンセラーなどの臨床心理師**
- **自治体； 福祉・行政機関**
等の連携による個々のケースの問題解決に向かっての努力
- **大変だと思っけれどやって行かなければならない**

不登校の問題に加えて、ひきこもり、フリーター、パート・アルバイト、非正規雇用者などの問題がありますが、時間の都合上、ここでは割愛します。

まとめ

- SDGsの理念は2030年以降も生き続けるでしょう。
- SDGsの推進は、多くの人たちが、それぞれの立場で関わって行くことが大切です。
- 日本が世界におけるプレゼンスを保つためには、人口減少を食い止め、世界に通用する人材を輩出すること
- 教育が大切
- ESDマインドを持つ人材育成 ⇒ SDGsに関わる人を増やす

まとめ その2

- 人口減少の状況の中で、如何にして生き残りを図るのか？
- 人々の能力を高める教育、生活環境を実現する
- ハングリー精神と集中力を高める
- 全体レベルのアップを実現する中から、世界に通用する人材を輩出する
- 人口減少を食い止める「こころの環境教育」が大切